



2018年5月14日

説明資料

第83期 2018年3月期決算



三和ホールディングス株式会社
www.sanwa-hldgs.co.jp

■ はじめに

1. 第二次3ヵ年計画の進捗と 3
最近の業績推移
2. 建設環境(日本・米国・欧州)..... 4

■ 2017年度 通期(実績)

3. 決算ハイライト 6
4. 連結売上実績(セクター別)..... 7
5. 営業利益実績・増減要因(セクター別)..... 8

■ 2018年度 通期(予想)

6. 予想ハイライト 10
7. 連結売上予想(セクター別)..... 11
8. 営業利益予想・増減要因(セクター別)..... 12

■ 第二次3ヵ年計画重点方針の進捗

9. 重点方針の進捗 について 14
10. アジアの事業基盤確立 17
11. グローバル展開による競争力の発揮 18

■ 財務ハイライト

12. 財務ハイライト 20

◆ 参考資料

1. セクター別連結業績の概要 23
2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向 24
3. 日本:製品別受注高・売上高 25
(三和シャッター工業)
4. 米州:製品別売上高(ODC) 26
5. 欧州:製品別売上高(NF) 27
6. 主要経営指標 28
7. 設備投資額と減価償却費 29
8. トピックス 30

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

1. 第二次3ヵ年計画の進捗と最近の業績推移

第二次3ヵ年計画（2016～2018年度）の進捗

■ 2017年度は、売上・利益とも過去最高を更新
2018年度も、第二次3ヵ年計画の目標には届かないが、
売上・利益とも過去最高となる見込み

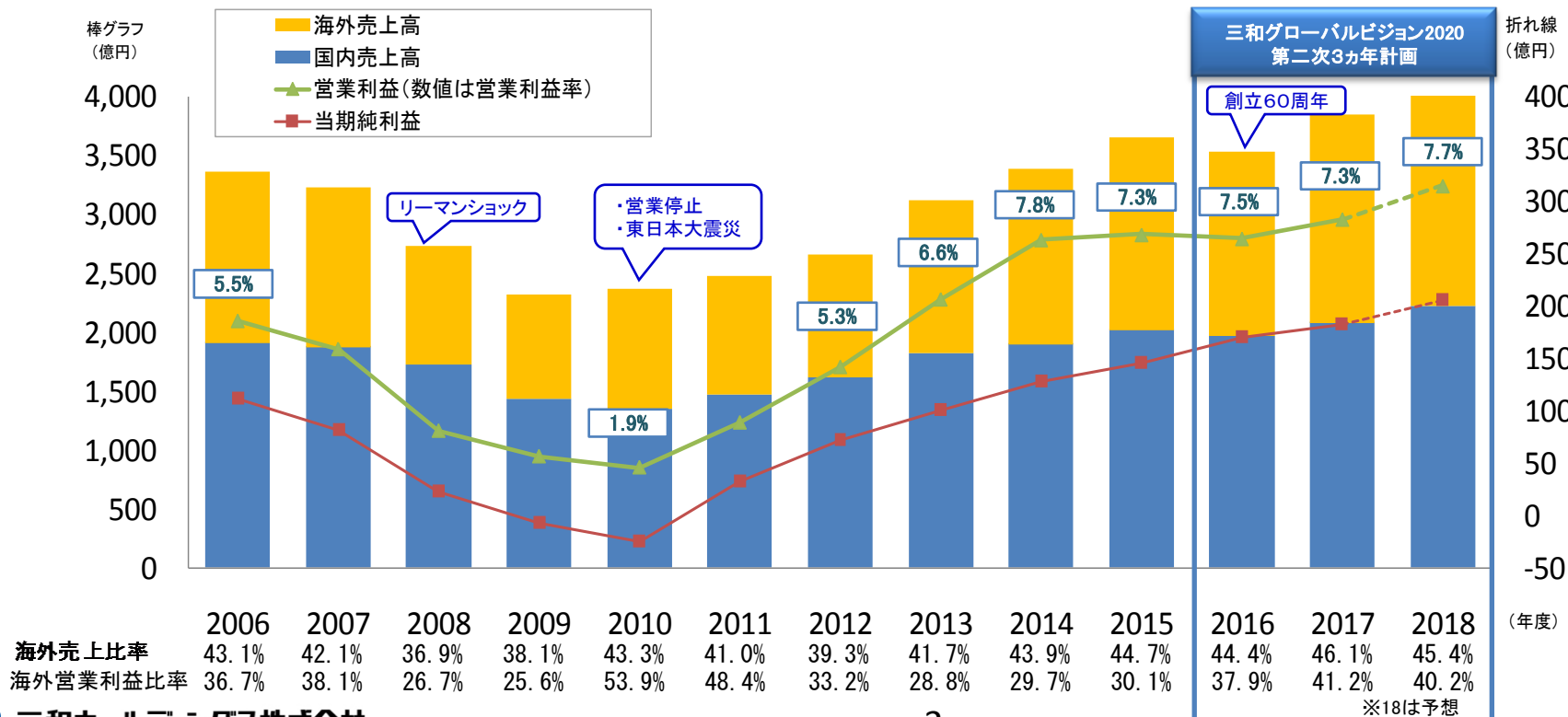
- ・国内事業：拡大基調が続くものの、市場要因により業績進捗が後ずれした
- ・北米事業：住宅用ドア・開閉機が牽引し、量・質ともに成長
- ・欧州事業：構造改革が奏功し、産業用ドア事業を中心に、売上が伸張、利益率も大幅改善
- ・アジア事業：2年連続黒字を維持したが、成長スピードは想定以下

	第二次3ヵ年目標 (2018年度)	今回公表 2018年度予想
売上高	4,100億円	4,070億円
営業利益	370億円	315億円
営業利益率	9.0%	7.7%
ROE	(注1) 15.0%	13.3%
SVA	(注2) 128億円	103億円
自己資本比率	42.0%	47.1%
DELシオ	0.40	0.40

(注1) 株主資本コストは8%を目処

(注2) 加重平均資本コスト(WACC)は6%、税率40%で計算

※為替前提（3ヵ年 1ドル:110円、1ユーロ:125円）（2018年度 1ドル:105円、1ユーロ:130円）



2. 建設環境(日本・米国・欧州)

■建設環境

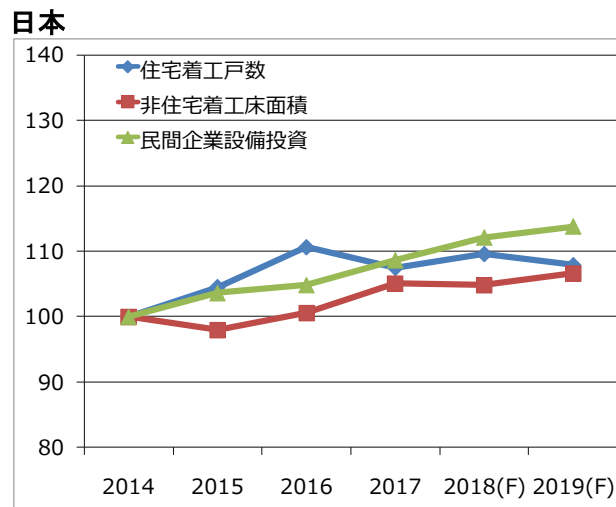
			2014		2015		2016		2017		2018		2019	
									実績		予想		予想	
日本	住宅着工戸数	千戸	880	-10.8%	921	4.6%	974	5.8%	946	-2.8%	965	2.0%	950	-1.6%
	非住宅着工床面積	千㎡	45,013	-5.9%	44,098	-2.0%	45,299	2.7%	47,293	4.4%	47,198	-0.2%	48,000	1.7%
	民間企業設備投資	10億円	79,781	3.3%	81,637	2.3%	82,602	1.2%	85,576	3.6%	88,314	3.2%	89,639	1.5%
米国	住宅着工戸数	千戸	1,003	8.4%	1,112	10.8%	1,174	5.6%	1,203	2.5%	1,290	7.2%	1,340	3.9%
	中古住宅販売戸数	千戸	4,940	-2.9%	5,250	6.3%	5,450	3.8%	5,510	1.1%	5,500	-0.2%	5,670	3.1%
	設備投資	10億ドル	2,173	6.9%	2,224	2.3%	2,210	-0.6%	2,314	4.5%	2,435	5.2%	2,517	3.4%
欧州	住宅建物投資(独仏伊蘭)	百万1-0	366,590	-1.5%	371,692	1.4%	386,727	4.0%	400,423	3.5%	409,582	2.3%	414,386	1.2%
	非住宅建物投資(独仏伊蘭)	百万1-0	210,309	-1.9%	209,043	-1.6%	212,836	1.8%	218,025	2.4%	221,563	1.6%	224,298	1.2%
ドイツ	住宅建物投資	百万1-0	167,547	1.9%	170,550	1.8%	176,372	3.4%	180,438	2.3%	181,736	0.7%	181,475	-0.1%
	非住宅建物投資	百万1-0	81,964	0.2%	80,595	-1.7%	81,150	0.7%	82,278	1.4%	82,117	-0.2%	81,384	-0.9%

※出典：(日) 国土交通省2018.04、内閣府2018.03、建設経済研究所2018.05 (米) 商務省2018.04、Blue Chip Economic Indicators2018.04、National Association of Realtors2018.03
(欧) Euroconstruct2017.06 日米の2018-19設備投資予想はニッセイ基礎研究所2018.03

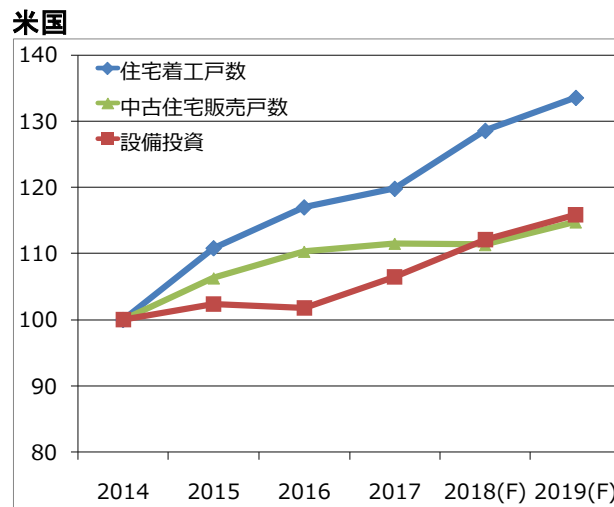
※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

※2019の(日) 住宅着工、非住宅着工床面積は当社推定

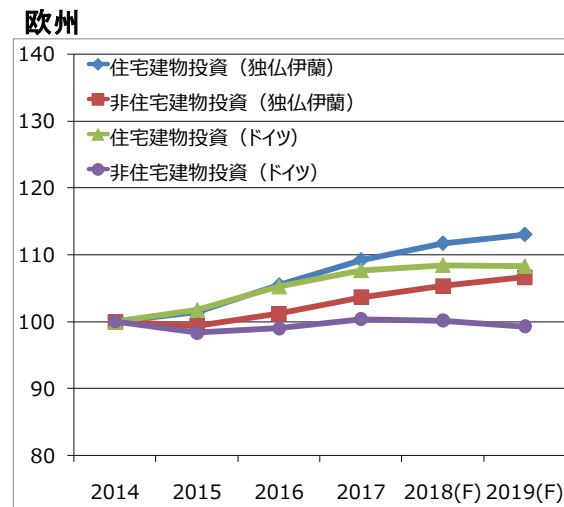
■建設環境の推移(2014年=100としたときの指数)



設備投資が回復、住宅は減少気味



住宅着工は回復継続、設備投資も回復見通し



住宅市場が強い、ドイツの非住宅が減速気味

■ 2017年度 通期（実績）
2017年4月～2018年3月

《通期連結実績》

	通期実績	予想	予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	3,857億円 【3,797億円】	3,850億円	+7億円 (+0.2%)	3,539億円	+318億円 【+258億円】	+9.0% 【+7.3%】
営業利益	283.2億円 【279.7億円】	303.0億円	▲19.8億円 (▲7.0%)	264.4億円	+18.8億円 【+15.3億円】	+7.1% 【+5.8%】
経常利益	279.0億円 【275.6億円】	297.0億円	▲18.0億円 (▲6.5%)	252.8億円	+26.2億円 【+22.8億円】	+10.4% 【+9.0%】
親会社株主に帰属 する当期純利益	182.8億円 【180.5億円】	192.0億円	▲9.2億円 (▲5.0%)	170.7億円	+12.1億円 【+9.8億円】	+7.1% 【+5.8%】

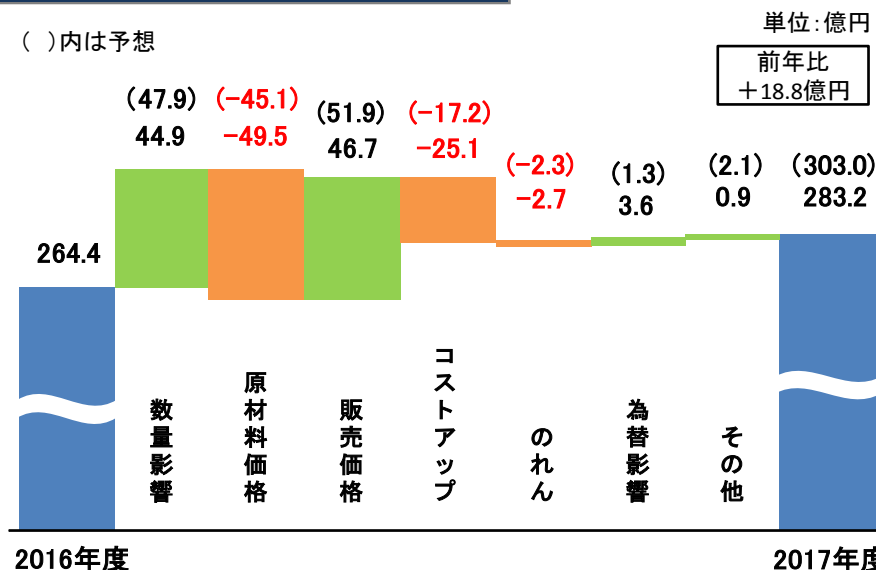
【 】内は、16年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

為替レート	2016	2017	2018予想
1ドル	109.44	112.04	105.00
1ユーロ	120.63	127.22	130.00

《通期実績のポイント》

〈要約〉	売上・利益とも過去最高となったが、利益は予想に届かず
売上高	連結実績は、前年・予想を上回った。 日本・北米・欧州とも前年を上回り、ODC、NFは予想も上回った。
営業利益	連結実績では増益となったが、予想比未達 国内の材料価格上昇分の売価への転嫁はタイムラグが発生し、また施工費等のコストが想定以上に増加したことが主因
経常利益	持分法投資損益が前年の反動で回復し、営業外損益は+7.4億円改善した
親会社株主に帰属 する当期純利益	欧州固定資産の売却益があったが、特別損益は前年横ばいとなった

営業利益増減分析(連結)

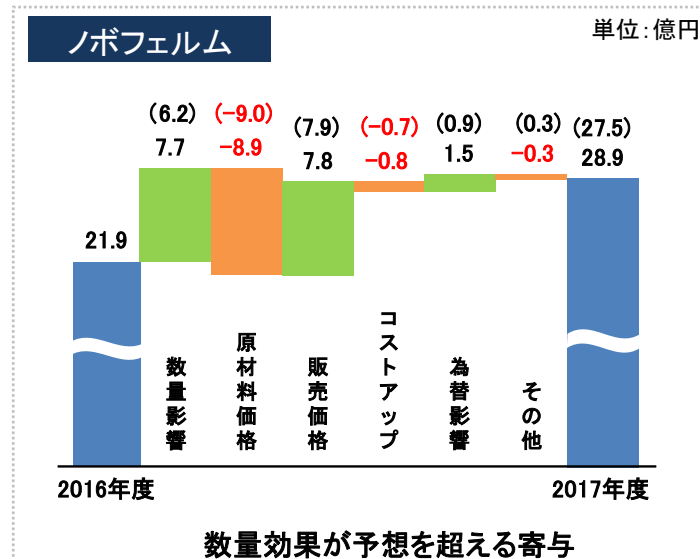
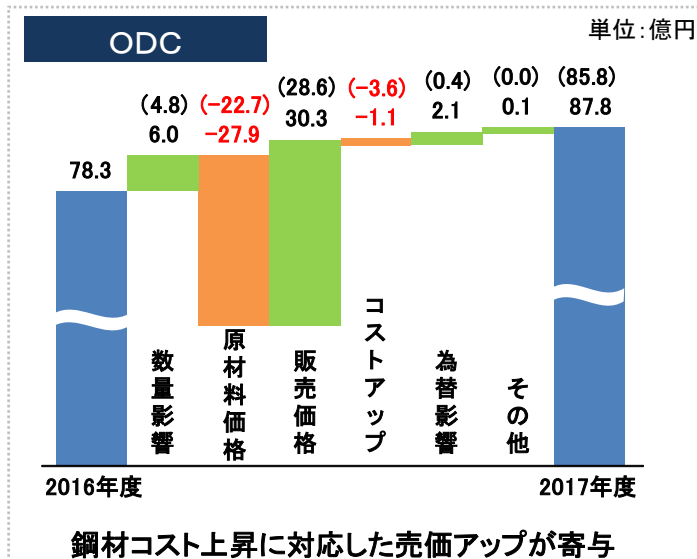
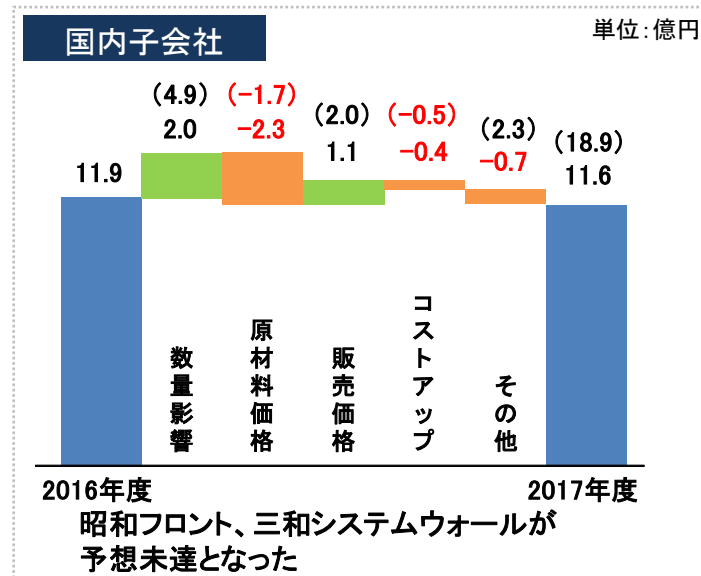
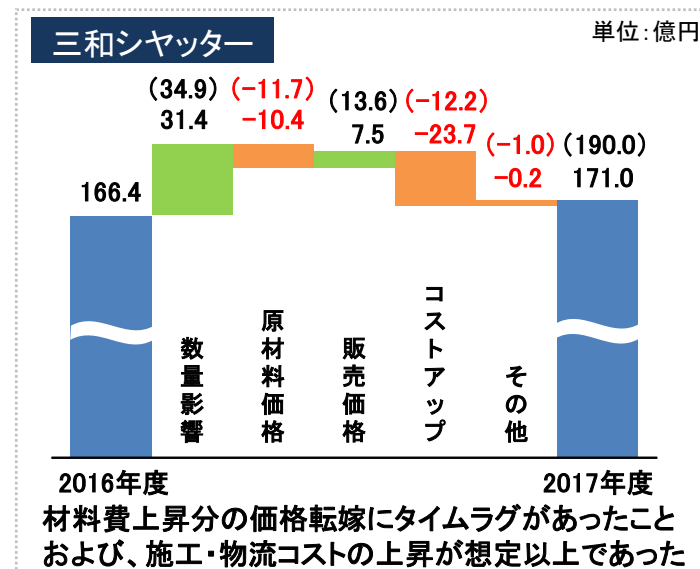


【 】内は、16年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《売上高》	16年度 通期実績	17年度 通期実績	前年比 (額)	前年比 (%)	ポイント
連結	3,539億円	3,857億円 【3,797億円】	+318億円 【+258億円】	+9.0 【+7.3】	為替影響により+60億円
三和シャッター ※25ページ参照	1,762億円	1,874億円	+111億円	+6.3	①軽量シャッターは、戸建・集合住宅向けが増加し+5.0% ②重量シャッターは、事務所・倉庫向けが大幅増加し+6.8% ③ビルマンションドアは、事務所向けが増加し+6.4% ④メンテサービスは、法定検査の伸張により+12.1% ⑤間仕切は、学校向けが伸びたことにより+6.8%
国内子会社	305億円	325億円	+20億円	+6.5	昭和フロントは店舗建設減少の影響により減収となったが、他の国内子会社は増収維持となり、三和システムウォールの新規連結もあり、全体では増収を確保した。
ODC (米国) ※26ページ参照 為替レート(\$)	1,038億円 \$948M (109.44円)	1,128億円 \$1,007M (112.04円)	+91億円 +\$59M	+8.7 +6.2	①ドアは、ガレージ用・商業用共に好調を維持し+9.3% ②施工・サービスはカナダ事業が不況により不振ながら、米国内の直販部門が補い+0.5% ③開閉機は、プロチャネル向けおよびホームセンター向けも堅調であり+8.8% ④自動ドアは、米国内の不振が響き▲2.4% ⑤車両ドアは、競争激化と新規開拓遅れにより▲12.8%
ノボフェルム (欧州) ※27ページ参照 為替レート(€)	534億円 €443M (120.63円)	650億円 €511M (127.22円)	+115億円 +€68M	+21.6 +15.3	①ヒンジドアは、大型物件の受注が拡大し+6.0% ②ガレージドアは、英国事業の新規連結効果および欧州全域の市場回復により+23.5% ③産業用ドアは、アルファ社が好調を維持、ノルスード買収効果もあり+16.5%

《営業利益》	16年度 通期実績	率 (%)	17年度 通期実績	率 (%)	前年比(額)	前年比 (%)
連結	264.4億円	7.5	283.2億円 【279.7億円】	7.3	+18.8億円 【+15.3億円】	+7.1 【+5.8】
三和シャッター	166.4億円	9.4	171.0億円	9.1	+4.6億円	+2.8
国内子会社	11.9億円	3.9	11.6億円	3.6	▲0.3億円	▲2.1
ODC (米国) 為替レート(\$)	78.3億円 \$71.5M (109.44円)	7.5	87.8億円 \$78.3M (112.04円)	7.8	+9.5億円 +\$6.8M	+12.1 +9.5
ノボフェルム (欧州) 為替レート(€)	21.9億円 €18.1M (120.63円)	4.1	28.9億円 €22.7M (127.22円)	4.4	+7.0億円 +€4.6M	+31.9 +25.1

【】内は、16年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。
()内は予想



■ 2018年度 通期(予想)
2018年4月～2019年3月

《通期連結予想》

	通期予想	上期	下期	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	4,070億円 【4,130億円】	1,830億円	2,240億円	3,857億円	+213億円 【+273億円】	(+5.5%) 【+7.1%】
営業利益	315.0億円 【320.3億円】	92.5億円	222.5億円	283.2億円	+31.8億円 【+37.1億円】	(+11.2%) 【+13.1%】
経常利益	310.0億円 【315.0億円】	88.0億円	222.0億円	279.0億円	+31.0億円 【+36.0億円】	(+11.1%) 【+12.9%】
親会社株主に帰属 する当期純利益	206.0億円 【209.8億円】	54.0億円	152.0億円	182.8億円	+23.2億円 【+27.0億円】	(+12.7%) 【+14.8%】

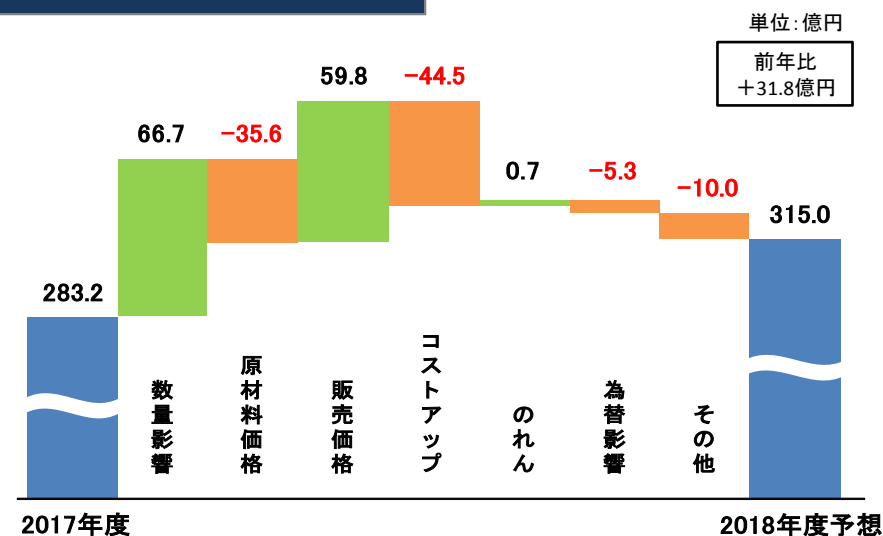
【 】内は、17年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

為替レート	2016	2017	2018予想
1ドル	109.44	112.04	105.00
1ユーロ	120.63	127.22	130.00

《予想のポイント》

〈要約〉	第二次3ヵ年目標は下回るものの、売上・各利益とも連続で過去最高を見込む
売上高	拡大基調が継続し、初めて4,000億円を突破する見込み 国内は経過措置最終年度である点検法制化等が牽引し、欧米は、足もとの強い需要動向により増収を見込む
営業利益	日米欧とも増益となり、2年連続で最高益を見込む 数量の伸びが大きく寄与することを予想し、施工費などコストアップ分についても、販売価格に転嫁する見込み
経常利益	営業外損益が前年並の予想となり、大幅増益を見込む
親会社株主に帰属 する当期純利益	特別損失は前年より増加を見込んでいるが、米国の法人税率が下がることなどにより5期連続最高益となる見込み

営業利益増減分析(連結)

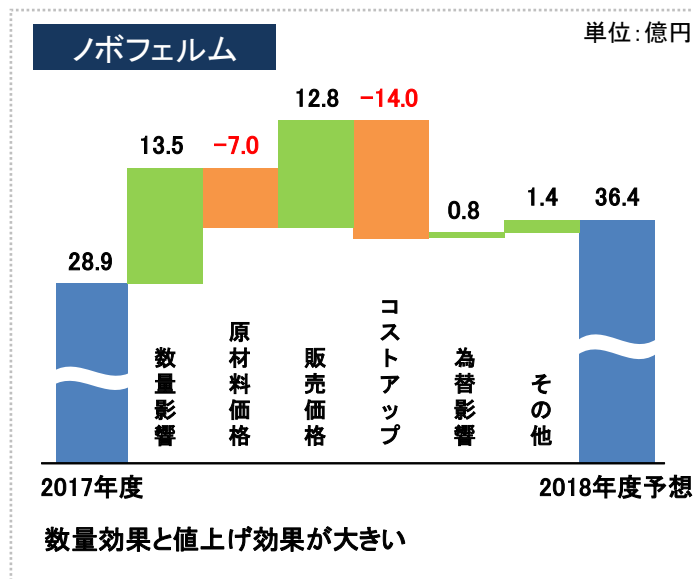
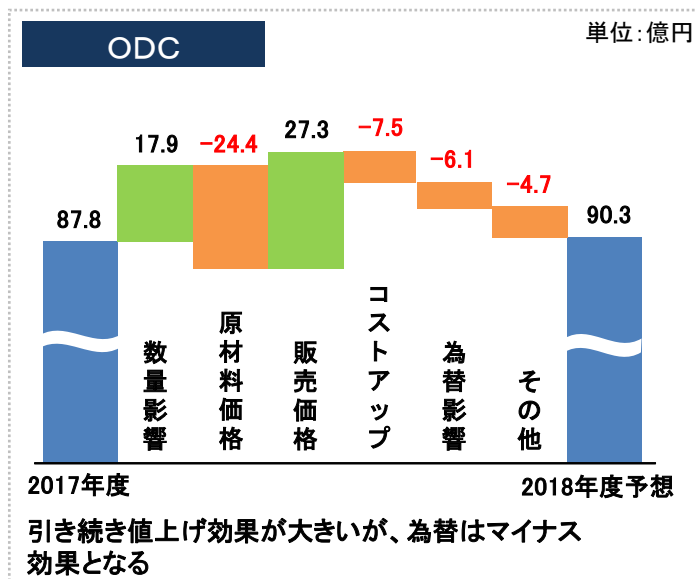
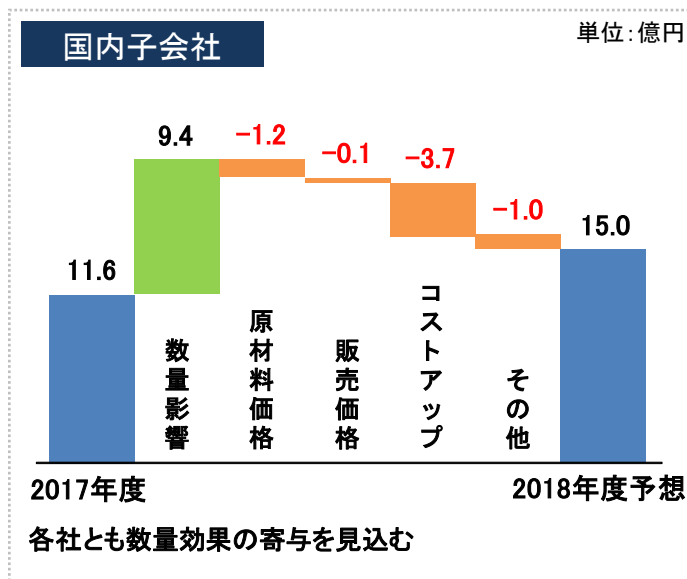
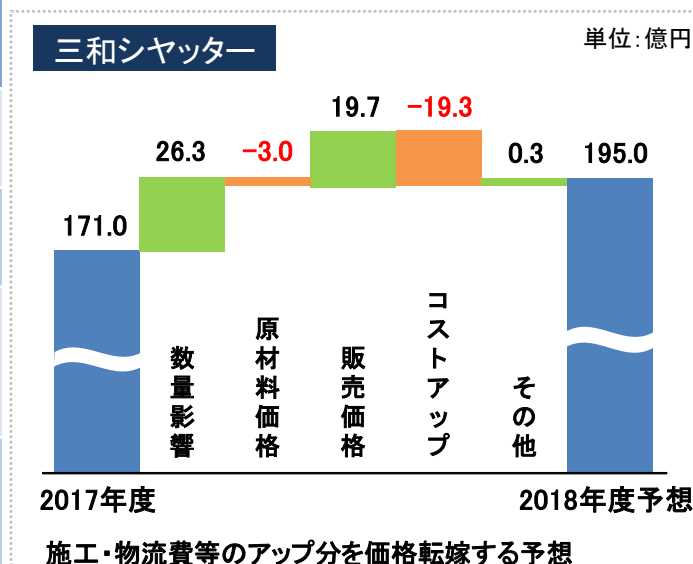


【 】内は、17年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

《売上高》	17年度 実績	18年度 予想	前年比 (額)	前年比 (%)	ポイント
連結	3,857億円	4,070億円 【4,130億円】	+213億円 【+273億円】	+5.5 【+7.1】	為替影響により▲60億円
三和シャッター ※25ページ参照	1,874億円	1,970億円	+96億円	+5.1	①軽量シャッターは、住宅・倉庫等が増加し+5.9% ②重量シャッターは、事務所・倉庫の数量増により+7.1% ③ビルマンションドアは、オフィス建設が伸張し+3.3% ④メンテサービスは、法定検査が大きく伸び+17.6% ⑤間仕切は、グループ間の製販連携を進め+8.7%
国内子会社	325億円	368億円	+43億円	+13.2	三和タジマおよび沖縄三和が好調を維持、また三和システムウォールも回復し大幅増収となる見込み
ODC (米国) ※26ページ参照 為替レート(\$)	1,128億円 \$1,007M (112.04円)	1,127億円 \$1,073M (105.00円)	▲1億円 +\$66M	▲0.1 +6.6	①ドアは、住宅市場が堅調を維持し、設備投資も回復が見込まれることから+6.8% ②施工サービスは、カナダ事業の回復により+8.8% ③開閉機は、プロチャネル向が好調を持続し+2.9% ④自動ドアは、リマ地下鉄ドア工事の進捗およびサービス事業の回復、昨年の反動もあり+10.4% ⑤車両ドアは、新規開拓を強化することで +4.1%
ノボフェルム (欧州) ※27ページ参照 為替レート(€)	650億円 €511M (127.22円)	720億円 €554M (130.00円)	+71億円 +€43M	+10.9 +8.5	①ヒンジドアは、プロジェクト物件受注拡大により+6.5% ②ガレージドアは、ドイツ、フランス等の市場回復が持続し+4.7% ③産業用ドアは、アルファ社の好調維持およびBGS買収効果もあり+12.6%

《営業利益》	17年度 実績	率 (%)	18年度 予想	率 (%)	前年比(額)	前年比 (%)
連結	283.2億円	7.3	315.0億円 【320.3億円】	7.7	+31.8億円 【+37.1億円】	+11.2 【+13.1】
三和シャッター	171.0億円	9.1	195.0億円	9.9	+24.0億円	+14.0
国内子会社	11.6億円	3.6	15.0億円	4.1	+3.4億円	+29.2
ODC (米国) 為替レート(\$)	87.8億円 \$78.3M (112.04円)	7.8	90.3億円 \$86.0M (105.00円)	8.0	+2.5億円 +\$7.7M	+2.9 +9.8
ノボフェルム (欧州) 為替レート(€)	28.9億円 €22.7M (127.22円)	4.4	36.4億円 €28.0M (130.00円)	5.1	+7.5億円 +€5.3M	+26.1 +23.4

【 】内は、17年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。



■ 第二次3ヵ年計画重点方針の進捗

基幹商品の利益確保と多品種化による成長

1. 基幹商品の取組み

三和シャッターの重点課題への取組み

- ・受注⇒非住宅建設が3ヵ年計画策定時予想と比べて低水準で推移した。また手持ち物件の管理強化を行ったこともあり、2017年度受注実績は、前年・予想を下回った。
- ・採算⇒2017年度の売価アップは、タイムラグが主因となり予想比未達となった。受注採算は改善しており、2018年度においては増益効果を見込める。ただし、施工費・物流費等の経費アップ分の販売価格への転嫁は2018年度に実行。

2. 多品種化の推進

シャッター、ドアに続く多品種化商品の育成

- ・間仕切 ⇒ 三和システムウォール(旧三和スピンドル建材)と国内グループの製販連携を強化
- ・環境建材 ⇒①高速シートシャッター(G14)など市場ニーズを捉えた商品ラインナップ拡充
②防水シャッター施工実績が、東京以外に京都、大阪、九州など着実に拡大
- ・住宅建材 ⇒IoT関連商品として、HEMS仕様の窓シャッターに、気象警報連動機能が追加

3. 防火設備の検査・報告制度

防火設備安全性向上への取組み

- ・2018年度は、経過措置(2016-2018)の最終年度

	2016	2017	2018(予想)
メンテ・サービス受注	(+7.6%) 248億円	(+11.9%) 278億円	(+17.8%) 327億円

- ・施工技術者数(3月末):約3,800名(前年比+200名)
- ・防火設備検査員資格保有者(3月末):約2,100名(前年比+240名)

4. インフラ整備

多品種化推進および働き方改革に向けた設備投資

- ・新大阪工場が稼動(2018年4月):投資額約25億円
⇒三和システムウォールの能力増強および間仕切、木製引戸の西日本生産・物流拠点として活用
- ＜生産品目＞ 学校間仕切(木製・スチール製)、トイレブース引戸(木製・スチール製)、アルミパーティション
- ・生産・物流等の業務効率化推進
⇒システム投資を実行し、働き方改革の進捗につなげる

コア事業拡大とともに基盤強化による成長

1. ドア部門への対応について

■ 販売チャネル・用途別状況

- ① ニューヨークなど大都市圏での売上拡大
 - ・ 主要ブランドである“Ribbon” “Wayne Dalton” において代理店、ディーラーの地域戦略を実行中

② 商業用ドア、ガレージドアとも堅調

- ・ 住宅市場は引き続き好調を維持、設備投資も回復傾向

＜2017年実績＞ 商業用ドア売上 : +5.9% (前年比)
ガレージドア売上 : +7.7% (前年比)

■ 原材料価格上昇への対応

- ・ 2017年は値上げによりコスト上昇分を相殺
- ・ 2018年も鋼材価格は上昇傾向であり、ODCは1月、6月に値上げ実施。

■ 新ERP導入の進捗

- ・ 2018年はシャッター主力工場(Lewistown)に導入予定。2021年にASDの導入終了。

■ 新商品の投入

- ・ 新投入のハイパフォーマンスドアが順調に拡大

2. 川下事業戦略

■ ISD (施工・サービス部門: 米国直販店 + カナダ事業会社)

- ・ 米国事業は住宅市場が堅調のため増収を確保
- ・ カナダは一部住宅向けが持ち直した。2018年は商業用が回復する見込み

■ 自動ドアサービス事業の進捗

- ・ 2017年は前年の反動で減収となったが、2018年は順調にスタートした。

3. 開閉機事業(ジニー)の回復

■ 数量・収益性とも改善

- ・ プロチャネル向けは、引き続き順調に拡大
- ・ IoT関連商品として、Wifi接続可能にするためのアプリおよび対応機種を開発し、スマートフォンからもアクセス可能に (31ページ参照)

『NF3.0』による重点商品を軸にした利益ある成長基盤の確立

1. ヒンジドアの拡販

プロジェクト・セールス強化によるヒンジドア拡販

- 1.設計事務所などへの折込営業強化、プロジェクト専門顧客向けの販売チャネル強化などを推進
- 2.生産性向上を目的に建設したレキシングー工場(ドイツ)の新塗装ラインは、順調に稼動し、旺盛なプロジェクトドアの需要に効果を発揮

2. 産業用ドア事業の拡大

アルファ製品およびドック製品を核とした産業用事業拡大

- 1.セクショナルドアの生産能力拡大のため、アルファ社工場(オランダ)を、2019年稼動予定で拡張中。完成後は欧州市場における最大級の産業用セクショナルドア工場となる見込み
- 2.ポーランド工場で生産しているドックレベラーは、計画通り生産能力が拡大
- 3.2016年に買収したノルスード社(フランス)は、受注・売上とも順調に拡大
- 4.ボルトン・ゲート・サービス社(BGS)を2018年1月に買収し、英国でのサービス事業を強化 (31ページ参照)

3. セクショナル・ガレージドアのシェア拡大

欧州市場が良好であり、業績も順調

- 1.ドイツでは競合の値下げ攻勢により一部苦戦したものの、順調に拡大。フランスにおいてもディーラーおよびDIY向けが好調に推移した。
- 2.NF UK社は、受注・売上とも順調に推移した。2018年に買収した英国BGS社との統合シナジーを推進予定

	2016年度	2017年度		2018年度
	通期実績	通期実績	修正予想	通期見通し
売上高	73億円	94億円	91億円	108億円
営業利益	0.1億円	1.0億円	1.6億円	2.7億円

1. 2017年は2年連続で黒字を計上し、目標であった利益体質の維持に目処
2. 2018年も引き続き増収・増益を見込む

	2017年度実績	2018年度見通し
上海宝産三和	大型物件(上海国際金融センター約6.5億円)の受注及び物流市場向けが好調で増収・増益	物流向けが引き続き好調、大型物件の売上により増収となり、前年並みの利益を確保する見込み
N F 上海	防火ライセンスの再取得の遅れ、生産能力及び製品品質問題等により増収・減益	防火ライセンスは再取得済み。現在、生産能力確保、品質向上に向け、生産体制を立直し中
ビナサンワ (ベトナム)	受注は順調、売上はローカル物件の伸びにより増収ながら、鋼材価格の上昇及び競争による売価の低下により減益	日系市場が縮小し、ローカル市場が拡大する見通し。ローカル市場及び輸出の受注拡大により増収・増益の見通し
安和金属 (台湾)	建設市場は弱含みであったものの、日系案件が寄与し、増収・増益	生産能力がほぼ上限に達しているものの、生産効率の改善により増収・増益の見通し
三和香港	景気の回復で止まっていた大型案件が再始動、また地下鉄の大型案件が寄与し、増収・増益	引き続き好調な手持物件の売上を見込み、増収・増益の見通し
ドンバン N F (韓国)	韓国の防火・耐熱ドアの認証を保有しており、国内の住宅向けのドア売上が順調で増収・増益	引き続き国内の住宅向けのドアが好調。また、輸出の増加も見込み、増収・増益の見通し

グローバルベースの 商品開発・展開

【商品開発】

- ・ 三和シャッターが販売しているガレージシャッター静々動々用アルミスラットの北米展開を検討するため、ODCと三和シャッターで連携
- ・ 三和グループの新たな高速アルミスパイラルシャッターの商品化に向けグループ内で連携し、欧米を中心とした各地域の市場ニーズを調査
⇒ ODCで北米向け商品を開発し、今後、欧州にも展開予定

【技術交流】

- ・ 共通課題の解決に向け、ODC・NFエンジニアの技術交流や、工場視察を実施

【情報共有】

- ・ 各社の技術的課題に対し、グループ内の情報を共有することで、効率的解決を推進



グループ調達活動の 拡大

グループ調達会社の三和グローバル調達センター（SGPC）を活用して、中国・アジアを中心とした低コスト国の調達を推進中 【2017年実績 45百万ドル】

グローバル 営業ネットワーク

グループ内商品の他地域への展開を推進中

- ・ NFの高速メタルドア「Novospeed Thermo」を中国・宝産三和のショールームに展示
- ・ ベトナムで開催された建材展で、ビナサンワが三和シャッターの窓シャッター「マドモア・ブラインド」、ODCのガレージドア「Thermacore」NFの高速メタルドア「Novospeed Thermo」等を展示



■ 財務ハイライト

12. 財務ハイライト①

1. B/Sの状況

(百万円)

	2017年 3月末	比率	前年同期比 増減額	2018年 3月末	比率	前年同期比 増減額
流動資産	198,077	61.2%	9,502	197,610	59.6%	-467
現金・現金同等物	56,290	17.4%	14,774	49,263	15.6%	-7,027
売掛金等、在庫	128,734	39.8%	-1,353	141,095	42.5%	12,361
固定資産	125,315	38.8%	3,622	134,076	40.4%	8,761
投資有価証券	27,183	8.4%	5,869	30,755	9.3%	3,572
総資産	323,393		13,124	331,686		8,293
有利子負債	74,739	23.1%	3,942	65,945	19.9%	-8,794
(D/Eレシオ)	0.53			0.44		
その他負債	108,749	33.6%	-389	114,620	34.6%	5,871
純資産	139,905	43.3%	9,571	151,121	45.6%	11,216
為替調整勘定	10,806		-2,843	11,558		752

■ 保有有価証券の時価上昇による

■ 銀行借入れ一部返済

2. 特別損益の状況

(百万円)

	17年度		18年度予想
	実績	予想	
固定資産処分損	▲181	▲200	0
投資有証売却損、評価損	▲5	▲10	0
子会社事業再構築	▲110	▲200	▲330
その他	▲2	▲90	▲320
特別損失計	▲298	▲500	▲650
特別利益	354	350	0
特別損益計	56	▲150	▲650

12. 財務ハイライト②

(百万円)

3. キャッシュフロー

	2017年度	前年増減	2018年度 予想	前年増減
税金等調整前当期純利益	27,953	2,588	30,350	2,397
減価償却費	7,622	332	8,444	822
のれん償却	1,603	271	1,534	-69
法人税等の支払額	-9,046	253	-8,393	653
運転資本	-5,840	-5,675	-4,240	1,600
その他	4,240	5,093	-524	-4,764
営業活動によるCF	26,532	2,862	27,171	639
投資活動によるCF	-13,172	-5,166	-25,378	-12,206
FCF(営業CF+投資CF)	13,360	-2,304	1,793	-11,567
財務活動によるCF	-20,505	-19,667	-9,185	11,320
現金・現金同等物の期末残	49,263	-7,028	41,871	-7,392

■フリー・キャッシュフロー配分方針

配当支払いを除いた実質FCFは、戦略投資(M&A、戦略的設備投資)に優先配分する。
ただし、戦略投資案件が少なく、資金ポジションが過剰になった場合は、株主還元について具体的に検討する。

今期投資CF予想: 約254億円の内訳

- ・維持的設備投資 ▲93億円
- ・戦略投資他(設備、M&A他) ▲161億円

今期財務CF予想: 約92億円の内訳

- ・配当 ▲70億円
- ・有利子負債返済等 ▲22億円

4. 株主還元について

①配当

■2017年度は予想通り、2018年度は2円増配予想

- ・2017年度配当: 30円(上期15円、下期15円) 配当性向約37%
- ・2018年度配当予想: 32円(上期16円、下期16円) 配当性向: 35%を目安

②自己株

■自己株取得状況

2014年度、2015年度、2017年度にそれぞれ50億円の自己株取得を実行し、取得後に同等額を消却済み

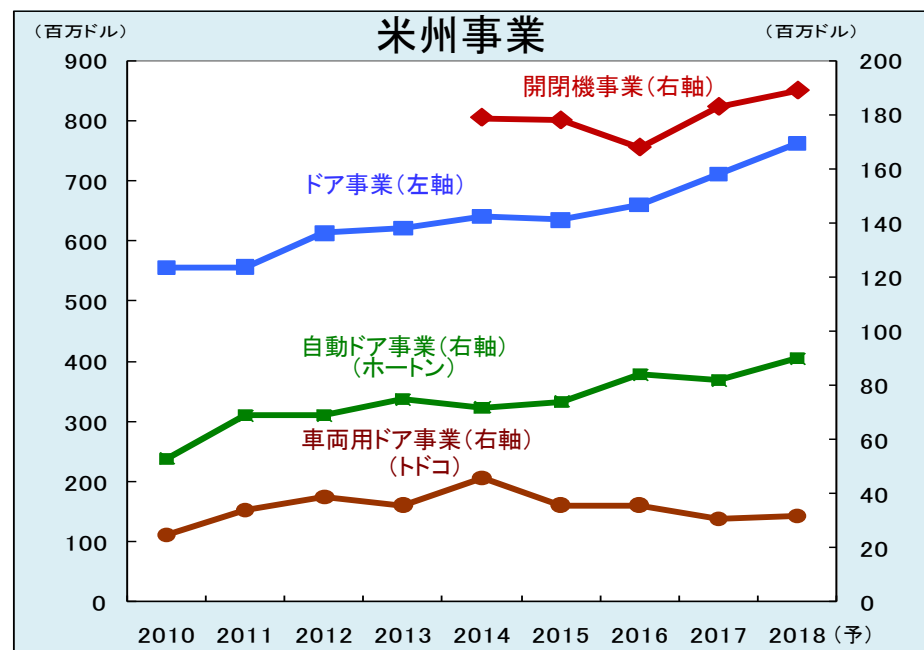
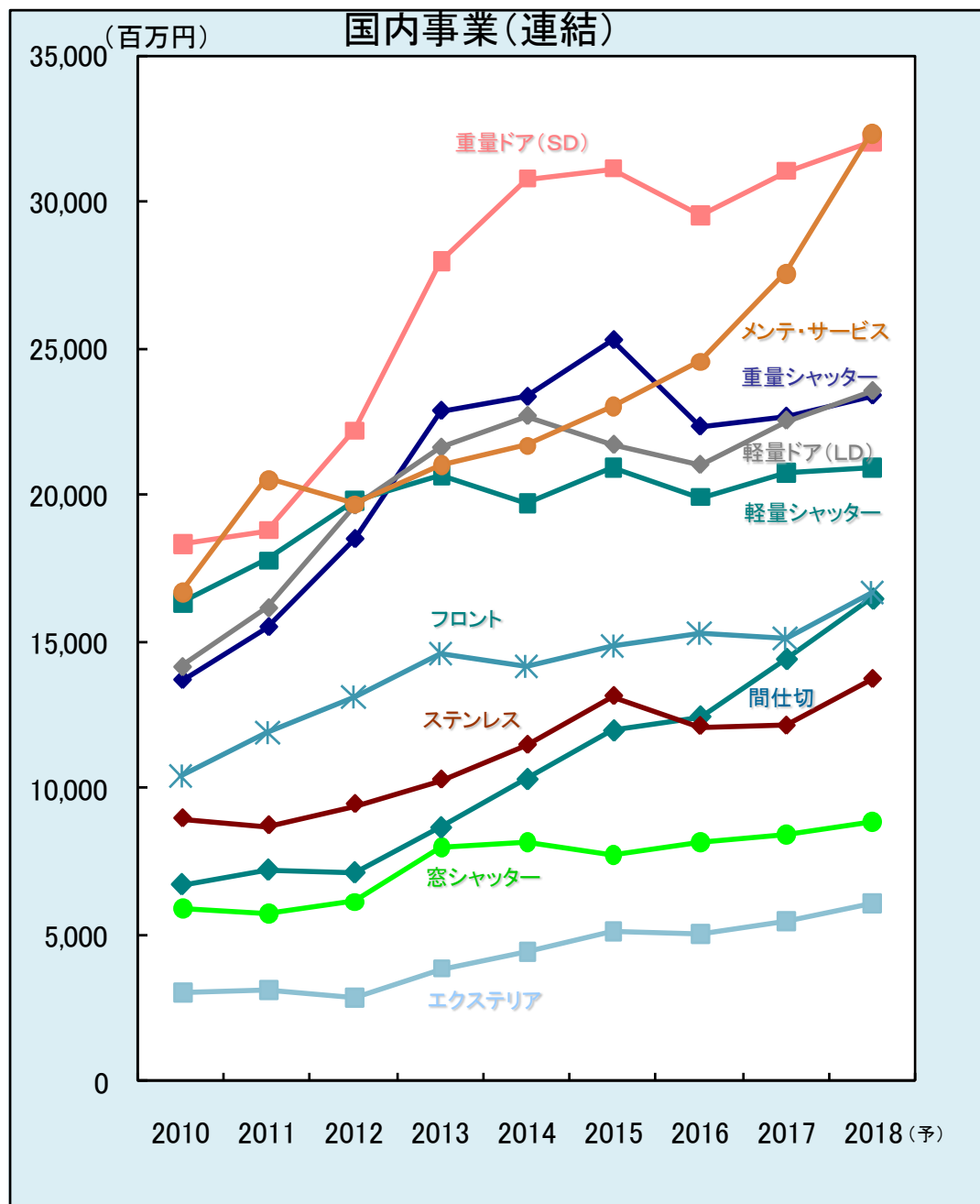
◆ 参考資料

参考資料1. セクター別連結業績の概要

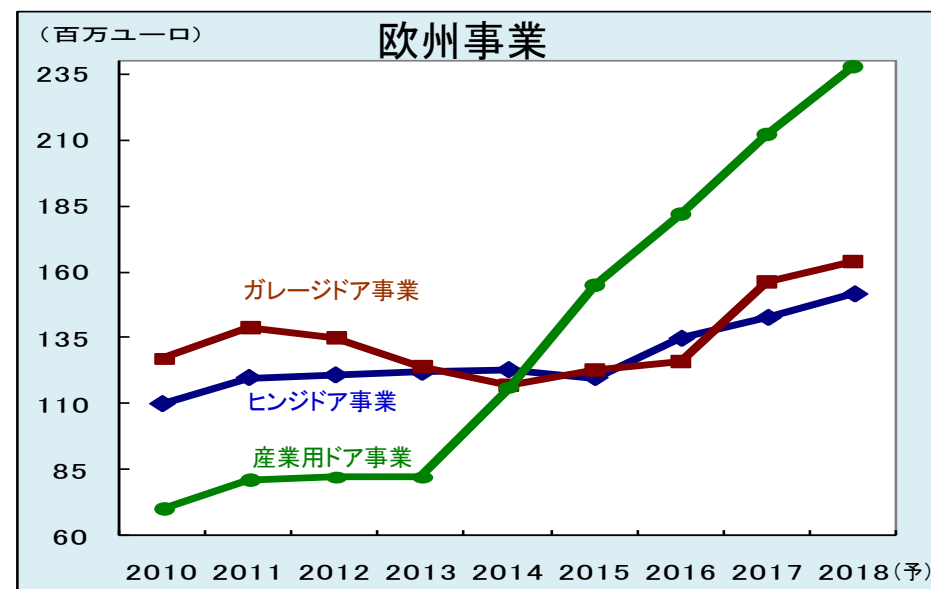
	2016年度						2017年度						2018年度(予想)						
	第2四半期累計			通期			第2四半期累計			通期			第2四半期累計			通期			
	(\$111.80 €124.36)	利益率	前年 増減率	(\$109.44 €120.63)	利益率	前年 増減率	(\$112.14 €122.22)	利益率	前年 増減率	修正予想 (\$110.00 €125.00)	(\$112.04 €127.22)	利益率	前年 増減率	(@105.00 @130.00)	利益率	前年 増減率	(@105.00 @130.00)	利益率	前年 増減率
売上高	160,457		(△0.3)	353,922		(△3.2)	173,125		(7.9)	385,000	385,673		(9.0)	183,000		(5.7)	407,000		(5.5)
〔前年為替適用〕							[173,495]		[8.1]		[379,690]		[7.3]	[184,541]		[6.6]	[413,014]		[7.1]
三和シャッター工業	75,235		(△0.9)	176,248		(△2.2)	80,519		(7.0)	189,000	187,388		(6.3)	83,900		(4.2)	197,000		(5.1)
その他国内子会社	13,441		(3.5)	30,497		(△1.1)	14,247		(6.0)	35,000	32,464		(6.5)	15,520		(8.9)	36,760		(13.2)
ODC(米国)	\$447,155		(4.9)	\$948,110		(4.2)	\$474,502		(6.1)	\$1,005,000	\$1,006,919		(6.2)	\$510,000		(7.5)	\$1,073,000		(6.6)
	49,991		(△2.6)	103,761		(△5.7)	53,210		(6.4)	110,550	112,815		(8.7)	53,550		(0.6)	112,665		(△0.1)
ノボフェルム(欧州)	€ 209,928		(15.1)	€442,872		(11.0)	€ 248,160		(18.2)	€ 500,000	€510,634		(15.3)	€ 270,000		(8.8)	€554,000		(8.5)
	26,106		(7.0)	53,423		(0.2)	30,330		(16.2)	62,500	64,962		(21.6)	35,100		(15.7)	72,020		(10.9)
営業利益	7,976	5.0	(31.8)	26,440	7.5	(△1.6)	9,045	5.2	(13.4)	30,300	28,322	7.3	(7.1)	9,250	5.1	(2.3)	31,500	7.7	(11.2)
〔前年為替適用〕							[9,052]		[13.5]		[27,969]		[5.8]	[9,401]		[3.9]	[32,028]		[13.1]
三和シャッター工業	5,179	6.9	(△7.5)	16,641	9.4	(△10.9)	5,614	7.0	(8.4)	19,000	17,104	9.1	(2.8)	5,650	6.7	(0.6)	19,500	9.9	(14.0)
その他国内子会社	305	2.3	(△22.0)	1,186	3.9	(△32.5)	195	1.4	(△36.3)	1,890	1,161	3.6	(△2.1)	360	2.3	(84.6)	1,500	4.1	(29.2)
ODC(米国)	\$22,237		(179.3)	\$71,548		(35.6)	\$27,621		(24.2)	\$78,000	\$78,348		(9.5)	\$31,000		(12.2)	\$86,000		(9.8)
	2,486	5.0	(159.2)	7,830	7.5	(22.7)	3,097	5.8	(24.6)	8,580	8,778	7.8	(12.1)	3,255	6.1	(5.1)	9,030	8.0	(2.9)
ノボフェルム(欧州)	€ 7,083		(+)	€18,134		(44.4)	€ 7,571		(6.9)	€ 22,000	€22,686		(25.1)	€ 9,000		(18.9)	€28,000		(23.4)
	880	3.4	(+)	2,187	4.1	(30.3)	925	3.0	(5.0)	2,750	2,886	4.4	(31.9)	1,170	3.3	(26.4)	3,640	5.1	(26.1)
経常利益	7,207	4.5	(27.8)	25,278	7.1	(△3.4)	8,798	5.1	(22.1)	29,700	27,898	7.2	(10.4)	8,800	4.8	(0.0)	31,000	7.6	(11.1)
〔前年為替適用〕							[8,803]		[22.2]		[27,563]		[9.0]	[8,934]		[1.5]	[31,495]		[12.9]
三和シャッター工業	5,257	7.0	(△7.6)	16,817	9.5	(△10.8)	5,705	7.1	(8.5)	19,100	17,286	9.2	(2.8)	5,730	6.8	(0.4)	19,650	10.0	(13.7)
その他国内子会社	336	2.5	(△17.1)	1,238	4.1	(△31.3)	220	1.5	(△34.5)	1,940	1,219	3.8	(△1.6)	380	2.4	(72.7)	1,540	4.2	(26.3)
ODC(米国)	\$21,452		(246.2)	\$68,157		(37.4)	\$26,180		(22.0)	\$74,000	\$75,333		(10.5)	\$28,000		(7.0)	\$81,000		(7.5)
	2,398	4.8	(221.3)	7,459	7.2	(24.2)	2,935	5.5	(22.4)	8,140	8,440	7.5	(13.2)	2,940	5.5	(0.1)	8,505	7.5	(0.8)
ノボフェルム(欧州)	€ 6,010		(+)	€16,049		(45.2)	€ 6,710		(11.7)	€ 20,000	€21,079		(31.3)	€ 8,500		(26.7)	€27,000		(28.1)
	747	2.9	(+)	1,935	3.6	(31.0)	820	2.7	(9.7)	2,500	2,681	4.1	(38.5)	1,105	3.1	(34.7)	3,510	4.9	(30.9)
持分法適用会社投資損益	△627		(－)	△566		(－)	△109		(+)	40	△10		(+)	△190		(－)	140		(+)
親会社株主に帰属する当期純利益	4,003	2.5	(24.1)	17,070	4.8	(16.7)	5,726	3.3	(43.0)	19,200	18,280	4.7	(7.1)	5,400	3.0	(△5.7)	20,600	5.1	(12.7)
〔前年為替適用〕							[5,734]		[43.2]		[18,054]		[5.8]	[5,505]		[△3.9]	[20,982]		[14.8]
三和シャッター工業	3,582	4.8	(△5.4)	11,863	6.7	(△7.4)	3,800	4.7	(6.1)	13,000	11,867	6.3	(0.0)	3,770	4.5	(△0.8)	13,360	6.8	(12.6)
その他国内子会社	187	1.4	(△31.8)	850	2.8	(△29.4)	140	1.0	(△25.2)	1,200	783	2.4	(△7.9)	240	1.5	(71.0)	920	2.5	(17.5)
ODC(米国)	\$13,876		(271.7)	\$44,311		(43.6)	\$16,841		(21.4)	\$47,000	\$45,303		(2.2)	\$21,000		(24.7)	\$61,000		(34.6)
	1,551	3.1	(244.9)	4,849	4.7	(29.8)	1,888	3.5	(21.7)	5,170	5,075	4.5	(4.7)	2,205	4.1	(16.7)	6,405	5.7	(26.2)
ノボフェルム(欧州)	€1,946		(+)	€8,365		(40.3)	€6,402		(229.0)	€15,000	€16,385		(95.9)	€5,800		(△9.4)	€17,000		(3.7)
	242	0.9	(+)	1,009	1.9	(26.6)	782	2.6	(223.3)	1,875	2,084	3.2	(106.6)	754	2.1	(△3.6)	2,210	3.1	(6.0)
持分法適用会社投資損益	△627		(－)	△566		(－)	△109		(+)	40	△10		(+)	△190		(－)	140		(+)

- 2017年度及び2018年度の「」内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て、「」内は前年同期増減率、「+」は前年比増加、「-」は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

参考資料2. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向



※ドア事業には施工・サービス部門(ISD)を含む
 ※開閉機事業の表示を組替えたため、2014年度以降を記載



参考資料3. 日本:製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2017年度（H29年度）										2018年度（H30年度）									
		上 期			下 期			通 期				上 期（予想）			下 期（予想）			通 期（予想）			
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
シャッター製品	軽 量	(△0.2)	(1.9)		(7.3)	(8.1)		(3.5)		(5.0)		(3.2)	(3.9)		(9.2)	(7.7)		(6.2)		(5.9)	
	重 量	(△4.5)	(4.8)		(4.7)	(8.3)		(△0.1)		(6.8)		(4.9)	(5.5)		(16.1)	(8.3)		(10.5)		(7.1)	
	小 計	(△2.7)	(3.4)		(5.9)	(8.2)		(1.5)		(6.0)		(4.2)	(4.7)		(13.0)	(8.1)		(8.6)		(6.6)	
シャッター関連	OSD	(△1.0)	(4.4)		(△1.0)	(△0.7)		(△1.0)		(1.6)		(6.6)	(5.0)		(14.8)	(10.1)		(10.8)		(7.7)	
	そ の 他																				
	小 計	(△0.4)	(1.4)		(2.0)	(5.7)		(0.8)		(3.8)		(7.9)	(3.3)		(9.9)	(4.2)		(8.9)		(3.9)	
ドア製品	ビル・マンション	(0.7)	(10.3)		(△20.5)	(4.0)		(△10.5)		(6.4)		(4.3)	(2.9)		(8.4)	(3.5)		(6.2)		(3.3)	
	住 宅	(2.6)	(2.6)		(6.3)	(6.2)		(4.5)		(4.5)		(1.7)	(△2.7)		(△23.1)	(△23.1)		(△11.3)		(△13.4)	
	小 計	(0.8)	(9.6)		(△18.7)	(4.1)		(△9.5)		(6.2)		(4.1)	(2.4)		(5.7)	(1.7)		(4.8)		(2.0)	
窓 製 品		(5.1)	(5.0)		(1.8)	(2.0)		(3.4)		(3.5)		(1.0)	(1.7)		(10.4)	(9.8)		(5.8)		(5.9)	
エクステリア製品		(3.4)	(8.3)		(△10.0)	(3.0)		(△3.6)		(5.5)		(8.2)	(7.2)		(13.5)	(7.4)		(10.8)		(7.3)	
その他の製品	間 仕 切 製 品	(4.8)	(2.7)		(△14.3)	(9.5)		(△4.8)		(6.8)		(13.6)	(11.9)		(36.7)	(6.8)		(24.0)		(8.7)	
	ステンレス製品	(13.5)	(△2.5)		(4.6)	(8.0)		(8.6)		(4.1)		(14.2)	(7.8)		(8.5)	(0.8)		(11.2)		(3.3)	
	フ ロ ン ト 製 品	(27.6)	(43.4)		(△4.8)	(16.5)		(8.9)		(26.7)		(9.4)	(9.7)		(30.0)	(9.8)		(19.8)		(9.8)	
	自動ドアエンジン	(8.1)	(4.1)		(△2.7)	(3.5)		(2.3)		(3.8)		(7.1)	(15.4)		(21.3)	(9.8)		(14.4)		(12.2)	
	そ の 他																				
	小 計	(7.5)	(15.4)		(△8.5)	(6.1)		(△0.9)		(9.7)		(12.9)	(7.1)		(29.1)	(9.3)		(20.8)		(8.4)	
合 計		(0.8)	(7.0)		(△6.3)	(5.8)		(△2.8)		(6.3)		(5.9)	(4.2)		(12.9)	(5.8)		(9.4)		(5.1)	
		95,067	80,519	100.0	92,375	106,868	100.0	187,443	100.0	187,388	100.0	100,700	83,900	100.0	104,300	113,100	100.0	205,000	100.0	197,000	100.0
ビル建材部門		(△1.8)	(5.0)		(△12.5)	(4.5)		(△7.2)		(4.7)		(6.6)	(4.0)		(11.2)	(3.0)		(8.8)		(3.4)	
店装建材部門		(0.4)	(4.0)		(4.2)	(6.5)		(2.3)		(5.3)		(2.8)	(1.5)		(4.7)	(2.2)		(3.7)		(1.9)	
住宅建材部門		(3.2)	(4.5)		(△1.4)	(2.6)		(0.8)		(3.5)		(3.2)	(1.9)		(1.4)	(△0.7)		(2.3)		(0.5)	
メンテ・サービス		(12.4)	(9.4)		(11.5)	(14.3)		(11.9)		(12.1)		(6.7)	(12.5)		(27.8)	(21.6)		(17.8)		(17.6)	
そ の 他																					
		1,677	2,121	2.6	1,617	1,943	1.8	3,294	1.8	4,065	2.2	1,900	1,800	2.1	2,700	2,700	2.4	4,600	2.2	4,500	2.3
		金 額			金 額			通期増減額				金 額			金 額			通期増減額			
手 持 残 高		110,804			96,358			553				113,158			104,358			8,000			
仕 掛 品		21,326			16,439			500				23,100			17,600			1,160			

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料4. 米国:製品別売上高(ODC)

(千USD・%)

		2017年度						2018年度(予想)					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
製品別売上高	ドア	(8.2) 271,481	57.2	(10.3) 315,480	59.3	(9.3) 586,961	58.3	(8.5) 294,500	57.7	(5.4) 332,600	59.1	(6.8) 627,100	58.4
	施工サービス	(1.6) 58,624	12.4	(△0.5) 65,047	12.2	(0.5) 123,671	12.3	(6.1) 62,200	12.2	(11.2) 72,300	12.8	(8.8) 134,500	12.5
	開閉機	(10.5) 88,134	18.6	(7.4) 95,313	17.9	(8.8) 183,447	18.2	(2.7) 90,500	17.7	(3.1) 98,300	17.5	(2.9) 188,800	17.6
	自動ドア	(△1.8) 38,786	8.2	(△3.0) 43,030	8.1	(△2.4) 81,816	8.1	(18.6) 46,000	9.0	(3.0) 44,300	7.9	(10.4) 90,300	8.4
	車両ドア	(△9.1) 17,477	3.7	(△17.2) 13,547	2.5	(△12.8) 31,024	3.1	(△3.9) 16,800	3.3	(14.4) 15,500	2.8	(4.1) 32,300	3.0
売上高		(6.1) 474,502	100.0	(6.3) 532,417	100.0	(6.2) 1,006,919	100.0	(7.5) 510,000	100.0	(5.7) 563,000	100.0	(6.6) 1,073,000	100.0
営業利益		(24.2) 27,621	5.8	(2.9) 50,726	9.5	(9.5) 78,348	7.8	(12.2) 31,000	6.1	(8.4) 55,000	9.8	(9.8) 86,000	8.0
経常利益		(22.0) 26,180	5.5	(5.2) 49,153	9.2	(10.5) 75,333	7.5	(7.0) 28,000	5.5	(7.8) 53,000	9.4	(7.5) 81,000	7.5
親会社株主に帰属する 当期純利益		(21.4) 16,841	3.5	(△6.5) 28,461	5.3	(2.2) 45,303	4.5	(24.7) 21,000	4.1	(40.5) 40,000	7.1	(34.6) 61,000	5.7

1. ()内は前年増減率を示す。

(千ユーロ・%)

		2017年度						2018年度(予想)					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比	
製品別売上高	ヒンジドア	(3.3)		(8.6)		(6.0)		(5.2)		(7.7)		(6.5)	
		69,381	28.0	73,431	28.0	142,812	28.0	73,000	27.0	79,100	27.9	152,100	27.5
	ガレージドア	(23.6)		(23.4)		(23.5)		(3.9)		(5.6)		(4.7)	
		77,364	31.2	78,918	30.1	156,282	30.6	80,400	29.8	83,300	29.3	163,700	29.5
産業用ドア		(26.4)		(8.6)		(16.5)		(15.0)		(10.4)		(12.6)	
		101,415	40.9	110,125	42.0	211,540	41.4	116,600	43.2	121,600	42.8	238,200	43.0
	売上高	(18.2)		(12.7)		(15.3)		(8.8)		(8.2)		(8.5)	
		248,160	100.0	262,474	100.0	510,634	100.0	270,000	100.0	284,000	100.0	554,000	100.0
営業利益		(6.9)		(36.8)		(25.1)		(18.9)		(25.7)		(23.4)	
		7,571	3.1	15,114	5.8	22,686	4.4	9,000	3.3	19,000	6.7	28,000	5.1
経常利益		(11.7)		(43.1)		(31.3)		(26.7)		(28.7)		(28.1)	
		6,710	2.7	14,369	5.5	21,079	4.1	8,500	3.1	18,500	6.5	27,000	4.9
親会社株主に帰属する当期純利益		(229.0)		(55.5)		(95.9)		(△9.4)		(12.2)		(3.7)	
		6,402	2.6	9,983	3.8	16,385	3.2	5,800	2.1	11,200	3.9	17,000	3.1

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 上段()は前年増減率を示す。

主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 予想
売上高 (百万円)	248,214	265,913	311,957	339,045	365,615	353,922	385,673	407,000
営業利益 (百万円)	8,855	14,174	20,649	26,334	26,870	26,440	28,322	31,500
親会社株主に帰属する純利益 (百万円)	3,297	7,182	10,161	12,857	14,627	17,070	18,280	20,600
売上高営業利益率 (百万円)	3.6%	5.3%	6.6%	7.8%	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均)	3.8%	7.9%	9.6%	10.7%	11.4%	12.7%	12.7%	13.3%
自己資本比率(期末)	37.7%	40.1%	40.4%	39.1%	41.7%	43.0%	45.2%	47.1%
期末純資産 (百万円)	85,522	97,134	113,956	126,748	130,334	139,906	151,121	159,819
期末総資産 (百万円)	226,579	241,771	281,917	323,327	310,269	323,393	331,686	337,000
期末有利子負債 (百万円)	61,607	60,799	69,153	88,484	70,798	74,739	65,945	63,166
D/E: 有利子負債/純資産 (倍)	0.72	0.63	0.61	0.70	0.54	0.53	0.44	0.40
SVA(Sanwa Value Added) (百万円)	-1,201	1,870	5,410	7,770	8,290	8,057	9,026	10,346
EPS: 1株純利益 (円)	13.7	29.9	42.4	54.1	63.1	74.6	80.9	91.6
発行済株式数(期中平均) (千株)	240,306	239,961	239,768	237,694	231,923	228,782	225,761	224,980

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。

参考資料7. 設備投資額と減価償却費

《連結の設備投資額と減価償却費》

(百万円)

	2016年度		2017年度		2018年度(計画)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
設備投資額	3,067	8,096	4,248	11,383	5,942	12,368
三和ホールディングス	240	723	805	2,221	134	393
三和シャッター工業	748	2,616	1,231	2,705	1,389	3,224
国内連結子会社	81	124	97	653	133	285
為替レート ()内は千ドル表示	111.80 (\$11,475)	109.44 (\$22,818)	112.14 (\$13,923)	112.04 (\$30,154)	105.00 (\$23,076)	105.00 (\$41,523)
ODC	1,282	2,497	1,561	3,378	2,423	4,360
為替レート ()内は千ユーロ表示	124.36 (€5,733)	120.63 (€17,699)	122.22 (€4,526)	127.22 (€19,058)	130.00 (€14,330)	130.00 (€31,584)
Novoform	712	2,135	553	2,424	1,862	4,105
減価償却費	4,211	8,622	4,373	9,225	4,811	9,978
三和ホールディングス	236	479	230	474	250	502
三和シャッター工業	858	1,848	778	1,758	964	2,134
国内連結子会社	96	206	107	230	131	279
ODC	(\$13,727) 1,534	(\$27,915) 3,055	(\$14,145) 1,586	(\$28,791) 3,225	(\$14,646) 1,537	(\$30,800) 3,234
Novoform	(€6,604) 821	(€14,097) 1,700	(€7,305) 892	(€15,198) 1,933	(€8,401) 1,092	(€17,650) 2,294
のれん償却額	664	1,332	777	1,603	836	1,534
有形固定資産償却費	2,500	5,150	2,631	5,581	2,944	6,220
三和ホールディングス	235	477	229	472	249	500
三和シャッター工業	510	1,133	541	1,260	690	1,497
国内連結子会社	73	160	84	182	106	230
ODC	(\$9,313) 1,041	(\$18,912) 2,069	(\$9,608) 1,077	(\$19,621) 2,198	(\$9,956) 1,045	(\$21,000) 2,205
Novoform	(€5,143) 639	(€10,853) 1,309	(€5,717) 698	(€11,534) 1,467	(€6,561) 852	(€13,750) 1,787
無形固定資産償却費	1,711	3,472	1,741	3,643	1,866	3,757
三和ホールディングス	0	1	0	1	0	1
三和シャッター工業	347	715	236	498	274	637
国内連結子会社	23	46	23	47	24	49
ODC	(\$4,414) 493	(\$9,003) 985	(\$4,537) 508	(\$9,169) 1,027	(\$4,690) 492	(\$9,800) 1,029
Novoform	(€1,461) 181	(€3,244) 391	(€1,588) 194	(€3,663) 466	(€1,840) 239	(€3,900) 507
のれん償却額	664	1,332	777	1,603	836	1,534



～西日本へ間仕切を供給～ 三和システムウォールの大阪工場を新設



三和システムウォール(2017年4月より連結子会社化)は新たな間仕切生産拠点である大阪工場を新設しました。

学校間仕切、アルミパーティション、トイレブース等を製造し、三和グループ全体における間仕切製品の西日本への供給拠点とすることで、生産・物流の効率化を目指します。



～1918年創業 建築用金属製品の先駆～ 三和タジマが100周年を迎えます



1936年に制作し、国会議事堂前に設置された伊藤博文像
(旧・田島順三製作所工場で撮影)



ステンレス製品のトップブランドである三和タジマは、2018年6月に創業100周年を迎えます。

三和タジマは1918年に田島順三製作所として創業し、1999年に三和グループ入りしました。

伝統ある企業の価値を守り、今後もさまざまな建築に歴史を刻み続けてまいります。



～宅配の再配達問題を低減～ 戸建住宅用宅配ボックス「おるすばんボックス」を発売



三和シャッター工業および田島メタルワークは、戸建住宅用宅配ボックス「おるすばんボックス」を2月より発売しました。

不在時でも荷物の受け取りが可能な宅配ボックスで、①大容量の収納、②かんたん操作、③万が一のときにも安全・安心な機能を兼ね備えています。



～グループの総合力を活かしエンジンと建具をセットで提供～ 「JIS A 4722」対応 歩行者用自動ドアセット を発売



三和シャッター工業と昭和フロント、三和タジマ、昭和建産は、グループの総合力を活かし「JIS A 4722」対応 歩行者用自動ドアセットを開発し、2月より発売しました。

2017年3月に自動ドアの安全規格として制定された「JIS A 4722」に準拠し、自己通信機能や開閉作動時の引き込まれや指はさみ防止対策、歩行者の検知機能向上などにより、これまで以上の安全性を確保しました。



～スマートフォンによる制御が可能～
ガレージドア開閉機「Legacy® 920」に
搭載システム「OHD Anywhere®」を発売



オーバーヘッドドア社はガレージドア開閉機「Legacy® 920」に搭載するシステム「OHD Anywhere®」を発売。
スマートフォンによって制御でき、開閉操作をはじめ、開閉状況の確認や操作ログも記録されるなど、セキュリティを大幅に向上させました。



～三和グループのガレージドアや折戸を展示～
「VIETBUILD 2018」に出展



2018年3月28日～4月1日にベトナムのハノイで開催された展示会「VIETBUILD 2018」にビナサンワ社が出展しました。
「VIETBUILD 2018」は毎年開催される建築の国際的な展示会で、三和シャッター製やODC社製、ノボフェルム製のガレージドアや折戸を展示し、多くの来場者が訪れました。



～英国における産業用ドアのサービス体制を強化～
Bolton Gate Services Ltd. の株式取得



ノボフェルムグループは、英国で産業用ドアのサービス事業を展開しているボルトン・ゲート・サービス社 (Bolton Gate Services Ltd.) の株式100%を取得しました。
今回の買収により、英国における産業用ドアのサービス体制を強化し、欧州市場における非住宅部門のさらなる強化を図ってまいります。



～産業用ドア・高速シートシャッター・開閉機を展示～
ドイツで開催された展示会「R+T」に出展



2018年2月28日～3月3日にドイツのシュトゥットガルトで開催された展示会「R+T」にノボフェルムグループのアルファ社(オランダ)とトーマティック社(ドイツ)が出展しました。
「R+T」は3年に1度開催されるシャッターやドアなどの国際的な展示会で、アルファ社は産業用セクショナルドアおよび高速シートシャッターを、トーマティック社は開閉機を展示し、多くの来場者が訪れました。